

# 3

## 入学後の学習について

社会福祉学科の学び

福祉心理学科の学び

履修登録

レポート学習

科目修了試験

スクーリング

実習・卒業

# 社会福祉学科の学び

## 1 授業科目一覧（社会福祉学科）

卒業要件単位は124単位以上（スクーリング単位30単位以上）です。

配当年次 1年次入学者は入学1年めに「1年以上」の科目が履修可能

2年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」の科目が履修可能

3年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」「3年以上」の科目が履修可能

履修方法 p.14～15参照

オンデマンド欄 マーク オンデマンド・スクーリング実施科目

スクーリング単位 p.68参照

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目		備考	
						社福	精保		
(共通基礎科目) 1年次入学者 18単位以上を選択履修 2・3年次編入学者 履修不要									
禅のこころ	1年以上	1	S		1	社会福祉士国家試験受験資格(p.72参照)	精神保健福祉士国家試験受験資格(p.96参照)		
ボランティア論	1年以上	2	R or SR		1				
科学的な見方・考え方	1年以上	2	SR		1				
基礎演習	1年以上	2	SR		1				
情報処理の基礎	1年以上	2	SR		1				
データ分析の基礎	1年以上	2	R or SR		1				
統計情報を見る眼	1年以上	2	R or SR		1				(注2)
法の基礎(日本国憲法を含む)	1年以上	2	R or SR		1				(注2)
教育の歴史と思想	1年以上	2	R or SR		1				
人権と福祉	1年以上	1	S		1				
社会福祉学入門	1年以上	1	R or SR		1				
歴史を読み解く	1年以上	2	R or SR		1				
生命の科学	1年以上	2	R or SR		1				(注2)
睡眠改善学	1年以上	2	R or SR		1				(注2)
コミュニケーション英語	1年以上	2	SR		1				(注1)
スポーツの心理学	1年以上	2	SR		1				(注2)
特講(地域と生活)	1年以上	1	S		1				(注1)
単位互換協定にもとづく認定単位	1年以上	10	—		(10)				
(専門必修科目) 16単位必修									
社会福祉原論(職業指導を含む)	2年以上	4	R or SR		2	●	○		
地域福祉論	2年以上	4	R or SR		2	●	○		
社会保障論	3年以上	4	R or SR		2	●	○		
公的扶助論	3年以上	2	R or SR		1	●	○		
福祉法学	2年以上	2	R or SR		1	●	○		
(専門選択科目) 1年次入学者 90単位以上を選択履修 2年次編入学者 78単位以上を選択履修 3年次編入学者 46単位以上を選択履修 ※共通基礎科目で規定の単位数以上修得した単位は専門選択科目の単位数に含めます。									
福祉社会学	1年以上	4	R or SR		2	●	○		
福祉心理学	1年以上	2	R or SR		1	●	○		

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目		備考
						社福	精保	
医学一般	2年以上	2	R or SR	☒	1	●	○	
福祉行財政と福祉計画	3年以上	2	R or SR	☒	1	●	○	
障害者福祉論	1年以上	4	R or SR	☒	2	●	○	
保健医療サービス論	3年以上	2	R or SR	☒	1	●	○	
社会福祉援助技術総論	2年以上	4	R or SR	☒	2	●		
社会福祉援助技術論A	2年以上	2	R or SR	☒	1	●		
社会福祉援助技術論B	2年以上	2	R or SR	☒	1	●		(注3)
社会調査の基礎	3年以上	2	R or SR	☒	1	●		
福祉経営論	3年以上	2	R or SR	☒	1	●		
高齢者福祉論	1年以上	2	R or SR	☒	1	●		
介護概論	1年以上	2	R or SR	☒	1	●		(注3)
児童・家庭福祉論	1年以上	4	R or SR		2	●		
更生保護制度論	2年以上	1	R or SR	☒	1	●		(注3)
就労支援サービス論	3年以上	1	S	☒	1	●		
社会福祉援助技術演習A	2年以上	3	SR		1	●		
社会福祉援助技術演習B	3年以上	3	SR		1	●		(注3)
社会福祉援助技術演習C	4年	3	SR		1	●		(注3)
社会福祉援助技術実習指導A	2年以上	1	SR		2	●		
社会福祉援助技術実習指導B	4年	2	SR			●		(注3)
社会福祉援助技術実習	4年	4	実習科目			●		(注3)
精神保健学	2年以上	4	R or SR		1		○	
精神医学	3年以上	4	R or SR		2		○	
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1		○	
精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	2年以上	2	R or SR		1		○	(注3)
精神保健福祉援助技術各論	2年以上	2	R or SR		1		○	(注3)
精神保健福祉の理論	2年以上	2	R or SR	☒	1		○	
精神科リハビリテーション学	3年以上	4	R or SR		2		○	
精神保健福祉のサービス	2年以上	2	R or SR	☒	1		○	
精神保健福祉の制度	3年以上	2	R or SR	☒	1		○	(注3)
精神障害者の生活支援システム	2年以上	1	R or SR		1		○	(注3)
精神保健福祉援助演習A	2年以上	1	SR		1		○	
精神保健福祉援助演習B	3年以上	2	SR		1		○	(注3)
精神保健福祉援助演習C	4年	2	SR		1		○	(注3)
精神保健福祉援助実習指導A	3年以上	1	SR		1		○	
精神保健福祉援助実習A	3年以上	2	実習科目				○	(注3)
精神保健福祉援助実習指導B	4年	1	SR		1		○	(注3)
精神保健福祉援助実習B	4年	2	実習科目				○	(注3)
福祉ボランティア活動	1年以上	1	R					
発達障害者の地域支援	1年以上	1	S	☒	1			(注2)
認知症介護論	1年以上	1	S		1			(注2)
知的障害者福祉論	2年以上	2	R or SR		1			
発達障害者の理解と支援	2年以上	2	SR		1			
ケアマネジメント論	3年以上	4	R or SR		1			(注1)
NPO論	1年以上	2	R or SR		1			
福祉リスクマネジメント	2年以上	4	R or SR		2			(注2)
公衆衛生学	2年以上	4	R					

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目		備考
						社福	精保	
福祉用具と生活支援	2年以上	4	R or SR		2			(注2)
リハビリテーション論	2年以上	2	R or SR		1			(注1)
医療・福祉経済論	2年以上	2	R or SR		1			(注2)
福祉思想論	1年以上	2	R					
家族法	2年以上	4	R or SR	☒	2			(注1)
社会福祉法制	3年以上	4	R or SR		2			(注1)
国際福祉論	3年以上	4	R					
心理学概論A	1年以上	2	R or SR	☒	1			
心理学概論B	1年以上	2	R or SR	☒	1			(注3)
社会・集団・家族心理学A(社会・集団心理学)	1年以上	2	R or SR	☒	1			
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)	1年以上	2	R or SR		1			
人間関係論	1年以上	1	S	☒	1			(注2)
産業・組織心理学	2年以上	2	R or SR		1			
老年心理学A	1年以上	2	R or SR		1			
老年心理学B	1年以上	2	R or SR		1			
発達心理学	2年以上	2	R or SR		1			(注4)
教育・学校心理学A(教育心理学)	1年以上	2	R or SR		1			
教育・学校心理学B(学校心理学)	2年以上	2	R or SR		1			
障害者・障害児の心理	2年以上	2	R or SR		1			(注4)
ライフサイクルと福祉心理学	1年以上	1	S	☒	1			(注2)(注3)
臨床心理学概論Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1			(注4)
司法・犯罪心理学	2年以上	2	SR		1			
カウンセリングⅠ	1年以上	1	S		1			
カウンセリングⅡ	1年以上	1	S		1			
カウンセリング演習Ⅰ	2年以上	1	S		1			(注3)
カウンセリング演習Ⅱ	2年以上	1	S		1			
特講・社会福祉学5(社会福祉士国家試験対策講座)	4年	1	S		1			
特講・社会福祉学6(精神保健福祉士国家試験対策講座)	4年	1	S		1			
特講・社会福祉学17(ACT)	1年以上	1	S		1			(注6)
特講・社会福祉学19(コミュニティソーシャルワーク)	1年以上	1	S		1			(注6)
特講(防災士研修講座)	1年以上	1	S		1			
特講・福祉心理学5(自分さがしの心理学)	1年以上	1	S		1			(注2)
特講・福祉心理学9(コミュニティ心理学)	1年以上	1	S		1			(注2)
特講・福祉心理学17(認知行動療法)	1年以上	1	S		1			(注2)
卒業研究	4年	8	卒業研究					
単位互換協定にもとづく認定単位	1年以上	20	—		(20)			

(注1) 2018年度会場スクーリング開講せず(2019年度は開講予定)

(注2) 2019年度会場スクーリング開講せず(2018年度は開講)

(注3) 他の科目とセット履修が必要な科目

(注4) 2019年度より開設する科目

(注5) 2019年度まで会場スクーリング開講、単位修得は2022年度までの科目

(注6) 開講予定年度未定

※上記以外にも、年度により開講されない科目があります。

※2019年度以降にカリキュラム改正等により変更予定の科目があります。

## 2 履修モデル

卒業までにどのような科目を履修するかのモデル例です（この通り履修する必要はありません）。1年次入学者1年めの学習計画の一例は p.53をご覧ください。3年次編入学者は、p.80～81、106～107などを参考にしてください。

（ ）内は単位数

### ■社会福祉学科 1年次入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目
1年次 (35単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(2) 教育の歴史と思想(2) 社会福祉学入門(1) 他 5 単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 障害者福祉論(4) 高齢者福祉論(2) 介護概論(2)
2年次 (34単位)	人権と福祉(1) 他 5 単位履修	福祉法学(2) 社会福祉原論(4) 地域福祉論(4)	社会福祉援助技術総論(4) 医学一般(2) 精神保健福祉の理論(2) NPO 論(2)
3年次 (32単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	福祉用具と生活支援(4) ケアマネジメント論(4) 保健医療サービス論(2) 福祉経営論(2) 認知症介護論(1) 特講・社会福祉学(1)
4年次 (23単位)			福祉リスクマネジメント(4) リハビリテーション論(2) 社会福祉法制(4) 国際福祉論(4) 福祉思想論(2)
合計 (124単位)	18単位	16単位	90単位

### ■社会福祉学科（社会福祉士国家試験受験資格取得）1年次入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
1年次 (37単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(2) 教育の歴史と思想(2) 社会福祉学入門(1) 他 7 単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 児童・家庭福祉論(4) 障害者福祉論(4) 高齢者福祉論(2) 介護概論(2)	福祉ボランティア活動(1) 心理学概論 A(2) 心理学概論 B(2)
2年次 (40単位)	人権と福祉(1) 他 3 単位履修	福祉法学(2) 社会福祉原論(4) 地域福祉論(4)	医学一般(2) 更生保護制度論(1) 社会福祉援助技術総論(4) 社会福祉援助技術論 A(2) 社会福祉援助技術論 B(2) 社会福祉援助技術演習 A(3) 社会福祉援助技術実習指導 A(1)	家族法(4) 発達障害者の地域支援(1) 福祉用具と生活支援(4) 人間関係論(1) ライフサイクルと福祉心理学(1)
3年次 (31単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	社会福祉援助技術演習 B(3) 社会調査の基礎(2) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉経営論(2) 保健医療サービス論(2) 就労支援サービス論(1)	医療・福祉経済論(2) 知的障害者福祉論(2) 認知症介護論(1) 福祉リスクマネジメント(4) 老年心理学 A(2) 老年心理学 B(2)
4年次 (16単位)			社会福祉援助技術演習 C(3) 社会福祉援助技術実習指導 B(2) 社会福祉援助技術実習(4)	リハビリテーション論(2) ケアマネジメント論(4) 特講・社会福祉学 5(1)
合計 (124単位)	18単位	16単位	54単位	36単位

3年次編入学者は、これらの科目を履修すれば、卒業もでき、社会福祉士国家試験受験資格取得も可能です。  
3年次編入学者の入学1年めの学習計画例は、p.80～81もご覧ください。

## ■社会福祉学科（精神保健福祉士国家試験受験資格取得）1年次入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
1年次 (38単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(2) 人権と福祉(1) 科学的な見方・考え方(2) 社会福祉学入門(1) 他10単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 障害者福祉論(4)	高齢者福祉論(2) 介護概論(2) 福祉ボランティア活動(1) 心理学概論A(2) 心理学概論B(2) 人間関係論(1)
2年次 (39単位)		福祉法学(2) 社会福祉原論(4) 地域福祉論(4)	医学一般(2) 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ(2) 精神保健福祉援助技術総論Ⅱ(2) 精神保健福祉援助技術各論(2) 精神保健福祉の理論(2) 精神保健福祉のサービス(2) 精神保健学(4) 精神保健福祉援助演習A(1)	知的障害者福祉論(2) 社会福祉援助技術論A(2) 社会福祉援助技術論B(2) ケアマネジメント論(4) リハビリテーション論(2)
3年次 (37単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	福祉行財政と福祉計画(2) 保健医療サービス論(2) 精神保健福祉の制度(2) 精神医学(4) 精神科リハビリテーション学(4) 精神障害者の生活支援システム(1) 精神保健福祉援助演習B(2) 精神保健福祉援助実習指導A(1) 精神保健福祉援助実習A(2)	認知症介護論(1) 社会・集団・家族心理学A(2) 産業・組織心理学(2) 司法・犯罪心理学(2) 老年心理学A(2) 老年心理学B(2)
4年次 (10単位)			精神保健福祉援助演習C(2) 精神保健福祉援助実習指導B(1) 精神保健福祉援助実習B(2)	福祉経営論(2) NPO論(2) 特講・社会福祉学6(1)
合計 (124単位)	18単位	16単位	52単位	38単位

3年次編入学者は、これらの科目を履修すれば、卒業もでき、精神保健福祉士国家試験の受験資格取得も可能です。  
3年次編入学者の入学1年めの学習計画例は、p.106～107もご覧ください。

### 3 社会福祉学科 学習計画例

#### (1) 1年次入学者の学習計画例

ここに掲載した学習計画は、「4月生・仙台でスクーリングを受講する場合」の一例です。履修登録科目、スクーリング受講会場、オンデマンド・スクーリングの利用の有無、科目修了試験での単位修得科目により、さまざまなケースが考えられます。

この例では、p.51記載の履修モデルをもとに、1年間に共通基礎科目13単位、専門選択科目23単位、合計36単位、スクーリング単位が12単位修得できます。

科目名	修得単位数		スクーリング 受講日	レポートA (1・2単位め)	レポートA (3・4単位め)	科目修了試験 受験日
	科目単位	スクーリング 単位				
高齢者福祉論	2	1	4/14・15	5月中旬	—	—
基礎演習	2	1	4/28・29	5月下旬	—	—
福祉心理学	2	1	5/12・13	6月中旬	—	—
教育の歴史と思想	2	1	6/16・17	7月中旬	—	—
社会福祉学入門	1	—	—	6/20	—	7/7 or 8
福祉社会学	4	2	7/14～16	8月中旬		—
障害者福祉論	4	2	8/18～20	9月中旬		—
ボランティア論	2	—	—	8/22	—	9/8 or 9
人間と教育	2	—	—	8/22	—	9/8 or 9
福祉ボランティア活動	1	—	—	9月中旬	—	—
法の基礎	2	—	—	10/31	—	11/17 or 18
児童・家庭福祉論	4	2	11/23～25	12月中旬		—
介護概論	2	1	12/8・9	1月中旬		—
心理学概論A	2	—	—	12/19	—	1/19 or 20
心理学概論B	2	—	—	12/19	—	1/19 or 20
歴史を読み解く	2	1	1/26・27	2月下旬	—	—
合計	36	12				

※ スクーリング受講日の変更となる場合がありますので、入学後『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

#### (2) 3年次編入学者の学習計画例

社会福祉士国家試験受験資格取得希望者 p.80～81参照

精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者 p.106～107参照

# 福祉心理学科の学び

## 1 授業科目一覧（福祉心理学科）

卒業要件単位は124単位以上（スクーリング単位30単位以上）です。

配当年次 1年次入学者は入学1年めに「1年以上」の科目が履修可能

2年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」の科目が履修可能

3年次編入学者は入学1年めに「1年以上」「2年以上」「3年以上」の科目が履修可能

履修方法 p.14～15参照

オンデマンド欄 マーク オンデマンド・スクーリング実施科目

スクーリング単位 p.68参照

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目		備考
							認定心理士	
(共通基礎科目) 1年次入学者 18単位以上を選択履修 2・3年次編入学者 履修不要								
禅のこころ	1年以上	1	S		1	認定心理士(●)は必修、◎から4単位、○から総計36単位必要 詳しくはp.117参照 ●◎○		
ボランティア論	1年以上	2	R or SR		1			
科学的な見方・考え方	1年以上	2	SR		1			
基礎演習	1年以上	2	SR		1			
情報処理の基礎	1年以上	2	SR		1			
データ分析の基礎	1年以上	2	R or SR		1			
統計情報を見る眼	1年以上	2	R or SR		1			(注2)
法の基礎（日本国憲法を含む）	1年以上	2	R or SR		1			(注2)
教育の歴史と思想	1年以上	2	R or SR		1			
人権と福祉	1年以上	1	S		1			
社会福祉学入門	1年以上	1	R or SR		1			
歴史を読み解く	1年以上	2	R or SR		1			
生命の科学	1年以上	2	R or SR		1			(注2)
睡眠改善学	1年以上	2	R or SR		1			(注2)
コミュニケーション英語	1年以上	2	SR		1			(注1)
スポーツの心理学	1年以上	2	SR		1			(注2)
特講（地域と生活）	1年以上	1	S		1			(注1)
単位互換協定にもとづく認定単位	1年以上	10	—		(10)			
(専門必修科目) 15単位必修								
福祉心理学	1年以上	2	R or SR		1	○		
心理学概論A	1年以上	2	R or SR		1	●		
心理学概論B	1年以上	2	R or SR		1	●	(注3)	
心理学実験ⅠA	1年以上	1	SR			●		
心理学研究法Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1	◎	(注4)	
社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学）	1年以上	2	R or SR		1	○		
発達心理学	2年以上	2	R or SR		1	○	(注4)	
臨床心理学概論Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1	○	(注4)	
(専門選択科目A群) 39単位以上を選択履修								
心理学実験ⅠB	1年以上	1	SR		1	●		
心理学実験ⅡA	2年以上	1	SR			●	(注4)	
心理学実験ⅡB	2年以上	1	SR		1	●	(注4)	

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目	備考
						認定心理士	
心理統計法	2年以上	2	SR		1	◎	(注4)
心理学研究法Ⅱ	3年以上	2	R		1	◎	(注4)
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)	1年以上	2	R or SR		1	○	
人間関係論	1年以上	1	S	🖥️	1	○	(注2)
産業・組織心理学	2年以上	2	R or SR		1	○	
児童青年心理学	1年以上	4	R or SR		1	○	(注5)
老年心理学A	1年以上	2	R or SR		1	○	
老年心理学B	1年以上	2	R or SR		1	○	
発達臨床心理学	2年以上	1	S		1	○	(注1)(注4)
教育・学校心理学A(教育心理学)	1年以上	2	R or SR		1	○	
教育・学校心理学B(学校心理学)	2年以上	2	R or SR		1	○	
障害者・障害児の心理	2年以上	2	R or SR		1	○	(注4)
ライフサイクルと福祉心理学	1年以上	1	S	🖥️	1		(注2)(注3)
感情・人格心理学	2年以上	2	R or SR		1		(注2)
司法・犯罪心理学	2年以上	2	SR		1	○	(注1)
心理的アセスメントⅠ	2年以上	2	R or SR	🖥️	1	○	
心理学的支援法Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1	○	(注4)
臨床心理学概論Ⅱ	3年以上	1	R			○	(注4)
心理的アセスメントⅡ	3年以上	1	S		1	○	(注4)
心理学的支援法Ⅱ	3年以上	2	R or SR		1	○	(注4)
心理学的支援法Ⅲ	3年以上	1	R			○	(注4)
健康・医療心理学	3年以上	2	R or SR		1	○	(注4)
カウンセリングⅠ	1年以上	1	S		1	○	
カウンセリングⅡ	1年以上	1	S		1	○	
カウンセリング演習Ⅰ	2年以上	1	S		1	○	(注3)
カウンセリング演習Ⅱ	2年以上	1	S		1	○	
知覚・認知心理学	2年以上	2	R or SR		1	○	
学習・言語心理学	2年以上	2	R or SR	🖥️	1	○	
神経・生理心理学	2年以上	2	R		1	○	(注4)
福祉心理学演習	4年	2	SR		1		(注4)
特講・福祉心理学5(自分さがしの心理学)	1年以上	1	S		1		(注4)
特講・福祉心理学9(コミュニティ心理学)	1年以上	1	S		1		(注2)
特講・福祉心理学17(認知行動療法)	1年以上	1	S		1		(注2)
卒業研究	4年	8	卒業研究				(注2)
(専門選択科目B群) 1年次入学者 52単位以上を選択履修 2年次編入学者 40単位以上を選択履修 3年次編入学者 8単位以上を選択履修 ※共通基礎科目、専門選択科目A群で規定の単位数以上修得した単位は専門選択科目B群の単位数に含めます。							
社会福祉原論(職業指導を含む)	2年以上	4	R or SR	🖥️	2		
地域福祉論	2年以上	4	R or SR	🖥️	2		
社会保障論	3年以上	4	R or SR	🖥️	2		
公的扶助論	3年以上	2	R or SR	🖥️	1		
福祉法学	2年以上	2	R or SR	🖥️	1		
福祉社会学	1年以上	4	R or SR		2		
人体の構造と機能及び疾病	2年以上	2	R or SR	🖥️	1		
福祉行財政と福祉計画	3年以上	2	R or SR	🖥️	1		
障害者福祉論	1年以上	4	R or SR	🖥️	2		
保健医療サービス論	3年以上	2	R or SR	🖥️	1		

授業科目の名称	配当年次	科目単位	履修方法	オンデマンド	スクーリング単位	資格指定科目	備考
						認定心理士	
社会福祉援助技術総論	2年以上	4	R or SR	☒	2		
社会福祉援助技術論A	2年以上	2	R or SR	☒	1		
社会福祉援助技術論B	2年以上	2	R or SR	☒	1		(注3)
社会調査の基礎	3年以上	2	R or SR	☒	1		
福祉経営論	3年以上	2	R or SR	☒	1		
高齢者福祉論	1年以上	2	R or SR	☒	1		
介護概論	1年以上	2	R or SR	☒	1		(注3)
児童・家庭福祉論	1年以上	4	R or SR		2		
更生保護制度論	2年以上	1	R or SR	☒	1		(注3)
就労支援サービス論	3年以上	1	S	☒	1		
精神保健学	2年以上	4	R or SR		1		
精神疾患とその治療Ⅰ	3年以上	2	R or SR		1		(注4)
精神疾患とその治療Ⅱ	3年以上	2	R or SR		1		(注4)
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	2年以上	2	R or SR		1		
精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	2年以上	2	R or SR		1		(注3)
精神保健福祉援助技術各論	2年以上	2	R or SR		1		(注3)
精神保健福祉の理論	2年以上	2	R or SR	☒	1		
精神科リハビリテーション学	3年以上	4	R or SR		2		
精神保健福祉のサービス	2年以上	2	R or SR	☒	1		
精神保健福祉の制度	3年以上	2	R or SR	☒	1		(注3)
精神障害者の生活支援システム	2年以上	1	R or SR		1		(注3)
福祉ボランティア活動	1年以上	1	R				
発達障害者の地域支援	1年以上	1	S	☒	1		(注2)
認知症介護論	1年以上	1	S		1		(注2)
知的障害者福祉論	2年以上	2	R or SR		1		
発達障害者の理解と支援	2年以上	2	SR		1		
ケアマネジメント論	3年以上	4	R or SR		1		(注1)
NPO論	1年以上	2	R or SR		1		
福祉リスクマネジメント	2年以上	4	R or SR		2		(注2)
公衆衛生学	2年以上	4	R				
福祉用具と生活支援	2年以上	4	R or SR		2		(注2)
リハビリテーション論	2年以上	2	R or SR		1		(注1)
医療・福祉経済論	2年以上	2	R or SR		1		(注2)
福祉思想論	1年以上	2	R				
家族法	2年以上	4	R or SR	☒	2		(注1)
社会福祉法制	3年以上	4	R or SR		2		(注1)
国際福祉論	3年以上	4	R				
特講・社会福祉学17(ACT)	1年以上	1	S		1		(注6)
特講・社会福祉学19(コミュニティソーシャルワーク)	1年以上	1	S		1		(注6)
特講(防災士研修講座)	1年以上	1	S		1		
単位互換協定にもとづく認定単位	1年以上	20	—		(20)		

(注1) 2018年度会場スクーリング開講せず(2019年度は開講予定)

(注2) 2019年度会場スクーリング開講せず(2018年度は開講)

(注3) 他の科目とセット履修が必要な科目

(注4) 2019年度より開設する科目

(注5) 2019年度まで会場スクーリング開講、単位修得は2022年度までの科目

(注6) 開講予定年度未定

※上記以外にも、年度により開講されない科目があります。

※2019年度以降にカリキュラム改正等により変更予定の科目があります。

## 2 履修モデル

### ■福祉心理学科 1年次入学者 履修モデル例

卒業までにどのような科目を履修するかのモデル例です。1年生から履修可能な専門科目も多いため、この履修モデルにかかわらず関心のある心理学関連科目から学習することも可能です。

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
1年次 (36単位)	ボランティア論(2) 科学的な見方・考え方(2) 基礎演習(2) 統計情報を見る眼(2) 他6単位履修	福祉心理学(2) 心理学概論A(2) 心理学概論B(2) 心理学実験ⅠA(1) 社会・集団・家族心理学A(2)	心理学実験ⅠB(1) 人間関係論(1) 教育・学校心理学A(2) カウンセリングⅠ(1)	高齢者福祉論(2) 介護概論(2) 児童・家庭福祉論(4)
2年次 (37単位)	4単位履修	発達心理学(2)	心理学実験ⅡA(1) 心理学実験ⅡB(1) 社会・集団・家族心理学B(2) 産業・組織心理学(2) 老年心理学A(2) 老年心理学B(2) カウンセリングⅡ(1)	福祉社会学(4) 社会福祉原論(4) 障害者福祉論(4) 社会福祉援助技術総論(4) 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論(2)
3年次 (31単位)		心理学研究法Ⅰ(2) 臨床心理学概論Ⅰ(2)	心理統計法(2) 発達臨床心理学(1) 教育・学校心理学B(2) ライフサイクルと福祉心理学(1) 司法・犯罪心理学(2) 感情・人格心理学(2) カウンセリング演習Ⅰ(1)	福祉法学(2) 社会保障論(4) 人体の構造と機能及び疾病(2) NPO論(2) 精神保健福祉援助技術総論Ⅱ(2) 精神保健福祉援助技術各論(2) 医療・福祉経済論(2)
4年次 (20単位)			心理学研究法Ⅱ(2) 障害者・障害児の心理(2) 心理的アセスメントⅠ(2) 心理学的支援法Ⅰ(2) 心理学的支援法Ⅱ(2) 学習・言語心理学(2)	公的扶助論(2) 精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) リハビリテーション論(2)
合計 (124単位)	18単位	15単位	39単位	52単位

3年次編入学者の卒業所要単位は、専門必修科目18単位・  
選択必修科目2単位以上・専門選択科目A群34単位以上・  
B群8単位以上です。A群の科目を34単位以上修得した場合は、  
その分B群の単位数を減らすことができます。  
3年次編入学者の入学1年めの学習計画例は、p.58～59も  
ご覧ください。

### ■福祉心理学科 3年次編入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
3年次 (34単位)	(18単位一括認定)	福祉心理学(2) 心理学概論A(2) 心理学概論B(2) 心理学実験ⅠA(1) 社会・集団・家族心理学A(2)	心理学実験ⅠB(1) 社会・集団・家族心理学B(2) 人間関係論(1) 産業・組織心理学(2) 老年心理学A(2) 老年心理学B(2) 教育・学校心理学A(2) ライフサイクルと福祉心理学(1) 感情・人格心理学(2) 司法・犯罪心理学(2) 教育・学校心理学B(2) カウンセリングⅠ(1) カウンセリングⅡ(1)	(44単位一括認定) 人体の構造と機能及び疾病(2) 福祉法学(2)
4年次 (28単位)		発達心理学(2) 心理学研究法Ⅰ(2) 臨床心理学概論Ⅰ(2)	心理学実験ⅡA(1) 心理学実験ⅡB(1) 心理統計法(2) 心理学研究法Ⅱ(2) 発達臨床心理学(1) 心理的アセスメントⅠ(2) 障害者・障害児の心理(2) 心理学的支援法Ⅰ(2) 心理学的支援法Ⅱ(2) カウンセリング演習Ⅰ(1) 学習・言語心理学(2)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2)
合計 (124単位)	18単位	15単位	39単位	52単位

### 3 福祉心理学科 学習計画例

#### (1) 仙台会場でのスクーリング受講が難しい場合の学習について

福祉心理学科を卒業するにあたって、「心理学実験ⅠA」の会場スクーリング受講が必要です。この「心理学実験ⅠA」スクーリングは、仙台以外に東京と札幌にて隔年開講を予定しています。その他、「心理学概論A・B」「カウンセリングⅠ」など一部の科目は、東京や札幌でも開講される年度があります。また、「福祉心理学」「社会・集団・家族心理学A」「人間関係論」「ライフサイクルと福祉心理学」など一部科目（p.16参照）はオンデマンド・スクーリングを開講しています。

そのため、東京または札幌で開講されるスクーリングとオンデマンド・スクーリングを併用すれば、仙台に来ることなく卒業に必要なスクーリング単位を修得できます。この際、社会福祉系科目のオンデマンド・スクーリングをどの程度利用するかも学習のポイントとなります。

なお、認定心理士取得希望者は、「心理学実験ⅠA」「心理学実験ⅠB」「心理学実験ⅡA」「心理学実験ⅡB」の4科目がスクーリング受講必須ですので、各2日間のスクーリング受講が卒業までに必要です。

#### (2) 3年次編入学生の学習計画例

この学習計画例は、「4月生・仙台でスクーリングを受講する場合」の一例です。履修登録科目、スクーリング受講会場、オンデマンド・スクーリング利用の有無、科目修了試験での単位修得により、さまざまなケースが考えられます。

ここでは、p.57に記載の「3年次編入学生 履修モデル」で、3年次（入学1年め）の履修科目にある20科目34単位を履修する例を右記に記載します。この例では、1年間でスクーリング単位が12単位修得できます。なお、卒業までにはスクーリング単位を15単位以上修得する必要があります。

## ●福祉心理学科3年次編入学者1年めの学習計画例(4月生・仙台でスクーリングを受講する場合の一例)

科目名	修得単位数		スクーリング 受講日	レポートA (1・2単位め)	科目修了試験 受験日
	科目単位	スクーリング 単位			
福祉心理学	2	1	5/12・13	6月中旬	—
カウンセリングⅠ	1	1	5月末頃	—	—
人体の構造と機能及び疾病	2	—	—	6月20日	7/7 or 8
社会・集団・家族心理学A	2	1	6/30・7/1	7月下旬	—
感情・人格心理学	2	1	7/28・29	8月下旬	—
心理学実験ⅠA	1	—	8/9・10	9月上旬	—
心理学実験ⅠB	1	1	8/11・12	9月上旬	—
教育・学校心理学B	2	—	—	8/22	9/8 or 9
司法・犯罪心理学	2	1	8/25・26	9月下旬	—
教育・学校心理学A	2	1	10/27・28	—	—
社会・集団・家族心理学B	2	—	—	10/31	11/17 or 18
福祉法学	2	—	—	10/31	11/17 or 18
人間関係論	1	1	11/10・11	—	—
産業・組織心理学	2	—	—	12/19	1/19 or 20
ライフサイクルと福祉心理学	1	1	12/1・2	—	—
心理学概論A	2	1	1/12・13	2月中旬	—
心理学概論B	2	1	1/13・14	2月中旬	—
カウンセリングⅡ	1	1	2018年度 東京開講予定	—	—
老年心理学A	2	—	—	2/13	3/2 or 3
老年心理学B	2	—	—	2/13	3/2 or 3
合計	34	12			

※ スクーリング受講日が変更となる場合がありますので、入学後『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

※この例では、スクーリング受講を予定していない科目であっても、仙台会場のスクーリングやオンデマンド・スクーリングの受講が可能です。自分に合った学習計画を立ててください。

## 履修登録

**履修登録とは……**履修（学習）を希望する科目を届け出ることです。履修登録を行った科目について、教科書を送付します。履修登録をしていないと、その科目の学習ができませんので、早めに履修登録しましょう。

- ・正科生が履修登録した科目は次年度以降も継続されますので、進級時には新たに追加する科目のみを履修登録します。年度を越えて、継続学習できるのも通信教育の特徴です。
- ・正科生が授業料の範囲内で履修登録できるのは40単位までです。年間で最大50単位まで履修は可能ですが、超過履修費（1単位あたり5,000円）が必要です。

## レポート学習

**レポートとは……**レポートには説明や報告といった意味があります。教科書等による学習を通じて学んだことを教員へ説明し、その学習自体を教員へ報告するものです。また、レポートには大きく分けて次の2種類があります。

- ・説明型レポート……語句や用語の説明を求めます。
- ・論述型レポート……レポート課題に対して、教科書を読み2,000字程度で述べてください。主として下記の4点でまとめます。

### 1. 序論

このレポートは、何について書かれたものなのかを記載します。例えば、レポート課題の繰り返しになっても構いません。または、レポート課題を自分なりに噛み砕いて説明するのも良いでしょう。序論は、あまり長く記載する必要はありません。

### 2. 本論

学説や用語を調べる・調査する等して記載してください。その際に、社会的な事例（ニュースや新聞）と絡めて記載できると、その課題について十分な理解をしていることが担当教員へ伝わります。さらに、身近な事例（職場や家庭など自身の経験）と絡めての記載も、理解度を示すこととなります。

### 3. 結論

ここでは、このレポートを通じて「何がわかったのか」を記載してください。それは、感想ではなく、課題を通じて学んだことを伝えてください。

### 4. 引用・参考文献

レポートでは、論理的な記述が求められます。そのため、論じた内容について、教科書を含めて根拠となる文献や新聞、法令、その他の先行研究を記載してください。

- ・レポート課題については、本学ホームページの「レポート課題一覧」より閲覧できます。
- ・レポートは、パソコン等で作成・印刷して提出できます（手書きも可）。
- ・その他、一部の科目で「客観式レポート（選択問題等）」があります。

## 科目修了試験

科目修了試験とは……定期試験のことです。レポート提出した科目の受験が可能で、試験に合格することで単位を修得します。下記のような特徴があります。

- ・2018年度は6回の試験を予定しており、1回の試験で4科目まで受験できます。
- ・受験の条件は、その科目のレポート提出です。
- ・大半の科目は論述式問題で、当日配付される試験問題は持ち帰りできます。
- ・合格率は、約80%と高水準。なお、スクーリング試験の合格率は約98%です。

### 2018年度 科目修了試験日程（予定）

回	レポート提出期限 申込締切日	実施・ 集合日時	開催地																																
			仙 台	札 幌	釧 路	旭 川	帯 広	函 館	青 森	八 戸	盛 岡	宮 古	秋 田	山 形	酒 田	福 島	郡 山	い わ き	水 戸	宇 都 宮	東 京	横 浜	新 潟	長 岡	富 山	長 野	静 岡	名 古 屋	大 阪	広 島	福 岡	那 覇			
第1回	5/2 (水) 必着	5/19 (土) 13:30 ~	●							●		●			●			●	●				●			●									
		5/20 (日) 9:45 ~	●	●						●			●								●	●		●						●					
第2回	6/20 (水) 必着	7/7 (土) 13:30 ~	●	●					●	●		●	●			●				●	●		●				●	●						●	
		7/8 (日) 9:45 ~	●		●	●				●	●		●	●			●				●	●		●				●	●						
第3回	8/22 (水) 必着	9/8 (土) 13:30 ~	●	●						●		●			●					●	●		●				●							●	
		9/9 (日) 9:45 ~	●						●	●		●								●	●		●				●			●					
第4回	10/31 (水) 必着	11/17 (土) 13:30 ~	●	●						●		●			●					●	●		●	●			●						●	●	
		11/18 (日) 9:45 ~	●		●	●					●		●			●					●	●		●					●						
第5回	12/19 (水) 必着	1/19 (土) 13:30 ~	●	●						●		●	●		●					●	●						●	●						●	
		1/20 (日) 9:45 ~	●						●	●		●				●					●	●		●					●						
第6回	2/13 (水) 必着	3/2 (土) 13:30 ~	●			●	●			●		●			●					●	●						●							●	
		3/3 (日) 9:45 ~	●	●						●		●									●	●		●											

※各回1会場のみ受験可能で、仙台会場・東京会場など両日開催時は1日を選択し受験します。

※地域別の入学者数を鑑み、下記の会場は2019年度以降いずれかの時点で廃止される可能性がありますので、ご了承のうえご入学をお願いいたします。

那覇・福岡・広島・名古屋・富山・長野・宮古

# スクーリング

スクーリングとは……講義を本学や地方会場で受講することです。1科目あたり2～3日間（科目によって異なる）の集中講義です。

スクーリングは、1科目あたり5,000～10,000円の受講料がかかります。

## 〈スクーリング受講のメリット〉

- (1) 講義を聞くことで科目内容についての考えを深められる。
- (2) 教科書を読むポイントがわかり、レポートをまとめやすくなる。
- (3) 一部科目の一部課題については、〇×式・穴埋め式などのスクーリング受講者専用「別レポート」の提出が可能となる。
- (4) 卒業に必要なスクーリング単位が修得できる。
- (5) 共に学ぶ学友ができて、在宅学習の励みとなる。

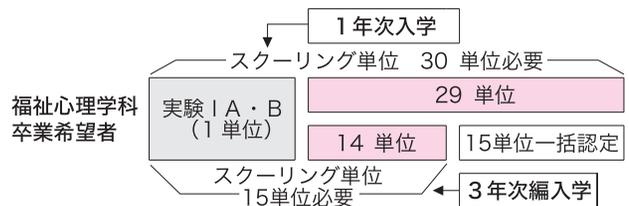
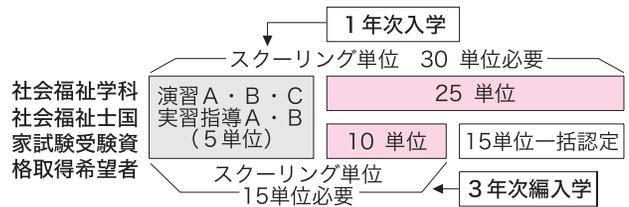
## 1 スクーリング受講計画の立て方

どの科目のスクーリングに出席するかは、ご自身で計画をたてることになります。

勤務や家庭の都合に合わせて、主に週末を用いた会場のスクーリングを中心に受講することもできますし、オンデマンド・スクーリングを中心に受講することもできます。

受講計画のためには、下記の点にご留意ください。

- (1) 卒業までに必要なスクーリング単位を修得することが必要です。
- (2) 演習や実験科目などは、必ず会場のスクーリングを受講する必要があります。
- (3) 社会福祉士国家試験受験資格取得希望者で実習受講が必要な場合は、図のように演習・実習指導科目でスクーリング単位5単位分の会場スクーリング受講が必要となります。卒業に必要な残りのスクーリング単位は、自身で選択して受講してください。
- (4) 福祉心理学科を卒業するためには、卒業までに「心理学実験ⅠA」のスクーリング受講が必要となります。卒業に必要なスクーリング単位は、自身で選択して受講してください。



□ = 決められた科目で受講すべきスクーリング □ = ご自分の希望する科目で受講できるスクーリング

### 【10月生としてご入学をお考えの方へ】

- (1) 10月1日以降のスクーリングから受講が可能です (p.66～67も参照)。翌年4月以降のスクーリング開講予定は毎年3月ごろに決定します。
- (2) 社会福祉士実習受講者の事後指導スクーリングは、最短修業年限での9月卒業の場合、仙台でのみの受講となります。

## 2 スクーリングはさまざまな形で受講できます

本学では、下記のような4つの形でスクーリングが受講できます。開講の約1カ月前までに事前の申込みが必要です。

### 会場で受講するスクーリング

#### (1) 通常スクーリング

会場で直接講義を受講するもので、ほとんどのスクーリングがこの方法で開講しています。開講場所は仙台が多くなりますが、札幌・盛岡・東京・新潟でも開講します。

#### (2) ビデオ・スクーリング

一部の科目について、講義を録画したものを会場で視聴します。ビデオ・スクーリングによるスクーリング単位は、10単位までが卒業に必要なスクーリング単位として認められます。

#### (3) 単位互換協定の連携を行う他大学の講義受講によるスクーリング

本学と単位互換協定を締結している産業能率大学の自由が丘キャンパス（東京都世田谷区）で週末に実施されるスクーリングを受講し、修得した単位を本学の授業科目とみなし、卒業に必要な単位に算入できる制度です。関東地方にお住まいの方にはスクーリング受講の機会が増えますので、ご利用ください。申込時期は前期分3月、後期分9月を予定しています。

### 【会場スクーリング開講予定 p.66～67参照（変更の可能性があります）】

最新情報は、本学ホームページ等でご確認ください。また、入学者は入学後に送付される『試験・スクーリング情報ブック』や2カ月に一度発行される学生向け機関誌『With』で必ずご確認ください。

### 【会場スクーリング申込・受講上の留意点】

- ・ 受講を申込んだ科目については、開講予定日記載の2～3日間の出席が必要となります。遅刻や一部欠席は認められません。
- ・ 仙台会場の標準的な時間割例（ただし、下記と異なる時間割の場合も多々あります）  
(3日間・12コマ)  
1日め 10:30～17:40 2日め 8:50～17:40 3日め 8:50～14:20  
(2日間・8コマ)  
1日め 10:30～17:40 2日め 9:10～16:20
- ・ 同一日時に開講されている科目はいずれか1科目しか受講できません（p.66記載の例外を除く）。
- ・ 同じ科目で開講日程が複数記載の科目は、いずれかを受講すればよいものです。
- ・ 開講地のあとに記載のVTRは、ビデオ・スクーリングを示します。
- ・ 主な開講予定会場（他の会場で開講される場合もあります）  
仙台 本学仙台駅東口キャンパス  
札幌 かでる2・7  
盛岡 アイーナ  
東京 本学東京サテライト（四ツ谷）

### 参考 コマとは？

本学のスクーリングの授業は、1時限が90分間となっています。90分授業の1回分を「1コマ」と呼んでいます。会場スクーリングでは、同じ科目の授業を「8コマ」または「12コマ」連続で受けることになります。

## Web 上で受講可能なスクーリング

### (4) オンデマンド・スクーリング

録画した講義動画を Web 上で受講するものです。受講可能な科目は、p.16のとおり30科目以上あります。

科目ごとに視聴期間（約1カ月間）が設定されています。視聴期間内ならば24時間視聴可能です。試験は提出締切日正午までに Microsoft Word に解答を作成し、メール添付での提出となります（一部の科目では Web 上で解答可）。

ADSL または光ファイバーなどのインターネット回線に接続されたパソコンが必要です。また、パソコンの基本的操作ができることが必要です（パソコン操作に関するサポートはできません）。

※スマートフォン等で受講できるよう準備中です。

### 【オンデマンド・スクーリングの受講スケジュール例】

科目名	申込締切日 <sup>1)</sup>	受講開始日 <sup>2)</sup>	スクーリング試験 提出締切日(正午) <sup>3)</sup>	別レポート解答期限 <sup>4)</sup>
社会福祉援助技術総論	4 / 8	4 / 19	5 / 18	5 / 28
福祉心理学	4 / 15	4 / 26	5 / 25	—
ボランティア論	4 / 29	5 / 10	6 / 8	—

1) 申込締切日までにWeb上で申込み。

2) 受講開始日より資料のダウンロード、講義視聴およびWeb別レポート解答が可能です（24時間視聴可能）。

3) すべての講義視聴後、試験提出締切日までに、スクーリング試験の解答をWordファイルに作成しメール添付して提出します（一部科目は試験の実施方法が異なります）。

4) 別レポートのある科目は解答期限までWeb上で解答できます。

## ■推奨するパソコンや通信環境・設定

### 【視聴するパソコンの環境】

画面解像度：1024×768以上

OS：Windows 7、8、10

※ Windows10は Internet Explorer11の利用に限ります（Microsoft Edge は動作保証対象外となります）。

ブラウザ：Internet Explorer 11以上

FLASH：Adobe Flash Player 9.0.124以上（最新版を推奨）

PDF：Adobe Reader DC 以上

### 【視聴するパソコンの設定】

1) Adobe Flash Playerがインストールされていることが必要です。

2) Microsoft Internet Explorerをお使いください（Ver 11以上）。

3) Java Scriptを有効にして使用してください（通常は購入時のパソコンはJava Scriptは有効です）。

4) Cookieを有効にして使用してください（通常は購入時のパソコンはCookieは有効です）。

5) ポップアップブロックを無効にしてください。または、www3.netrecorder.jpのポップアップを許可するサイトとして登録してください。

### 【通信の環境】

回線速度：5 Mbps以上推奨（2 Mbps必要）

※有線LAN推奨。無線経由の場合は回線状況によって切断が発生する場合があります。

※Proxyサーバを経由する場合はProxyサーバの種類や設定内容によっては動作しない場合があります。

※インターネット回線利用のため、100%の動作保障はできません。まれに、視聴管理機能や問題解答送信機能について、順調にいかない事例が報告されています（1,000～2,000クリックに1回程度）。

#### 【その他の注意事項】

受講にあたっては、Microsoft Wordが必要です（OpenOffice、LibreOffice等は不可）。

Mac（OSX）も視聴はできますが、すべての動作確認は未了で、利用できない機能がある可能性があります。

※携帯電話回線や高速モバイル回線をご利用の方は、利用状況によって通信速度制限が適用されることがあります。通信速度制限により、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。詳細は、ご契約の通信回線会社へお問い合わせください。

※上記の動作環境は、2017年10月時点のものです。今後変更となる場合がありますので、ご了承ください。

### 3 スクーリングに関する問い合わせ

**Q1** 仙台在住ですが、会場スクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. 修得できます（1年次入学、2・3年次編入学者いずれも）。

**Q2** オンデマンド・スクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. **社会福祉学科** 修得できます（1年次入学、2・3年次編入学者いずれも）。ただし、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、一部の科目（演習や実習指導科目）で会場スクーリング受講が必須になります。

**福祉心理学科** すべての修得はできません。卒業のみ希望の場合は「心理学実験ⅠA」の1科目、認定心理士を取得希望の場合は4科目以上、会場でのスクーリング受講が必須です。

**Q3** 関東在住ですが、東京会場のスクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. **社会福祉学科** 社会福祉士国家試験受験資格取得希望者は修得できます（1年次入学、2・3年次編入学者いずれも）。ただし、10月生で最短年限での卒業希望者は、仙台会場のスクーリング受講が必須です。また東京会場の演習・実習指導科目スクーリングが定員を超えた場合は他会場で受講の可能性があります。精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、仙台会場のスクーリング受講が必要になります。

**福祉心理学科** すべての修得はできません。オンデマンド・スクーリングや仙台会場のスクーリングを併せて受講することが必要です。p.58も参照ください。

**Q4** 北海道在住ですが、札幌会場のスクーリングのみで卒業に必要な30単位以上のスクーリング単位を修得できますか。

A. **社会福祉学科** 社会福祉士国家試験受験資格取得希望の方は、3年次編入学者のみ修得できます。1・2年次（編）入学者、10月生で最短年限での卒業希望者は、仙台会場のスクーリングやオンデマンド・スクーリングの受講が必須です。また札幌会場の演習・実習指導科目スクーリングが定員を超えた場合は他会場で受講の可能性があります。精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、仙台会場のスクーリング受講が必要になります。

**福祉心理学科** すべての修得はできません。オンデマンド・スクーリングや仙台会場のスクーリングを併せて受講することが必要です。p.58も参照ください。

## 4 2018年度 スクーリング開講予定 (2018年4月～2019年3月)

このスクーリング開講予定は、変更される場合があります。ご入学後に配付される『試験・スクーリング情報ブック』や『With』等を確認しお申込みください。

※「演習」「実習指導」科目は、社会福祉士 (p.72～81)・精神保健福祉士 (p.100～108) のページをご覧ください。

※開講予定日：aは午前中に終了、bは午後から開講となり、同日に受講が可能です。

### ■社会福祉士指定科目 (精神保健福祉士共通科目含む)

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数	科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
社会福祉原論	仙台	8/10～12	2	12	保健医療サービス論	仙台	10/13・14	1	8
	札幌	10/6～8				盛岡	6/30・7/1		
	盛岡 VTR	1/12～14				東京	4/7・8		
	東京	11/23～25				長岡 VTR	4/14・15		
	新潟 VTR	8/24～26							
地域福祉論	仙台	1/12～14	2	12	社会福祉援助技術総論	仙台	5/3～5	2	12
	盛岡	9/22～24				仙台 VTR	11/10・11・17		
社会保障論	仙台	10/6～8	2	12		札幌 VTR	4/28～30		
	仙台 VTR	3/21・23・24				東京 VTR	5/4～6		
	盛岡	12/22～24			新潟 VTR	7/27～29			
	東京	2/9～11							
公的扶助論	仙台	6/2・3	1	8	社会福祉援助技術論 A	仙台	7/14・15a	1	6
	札幌	10/27・28				札幌	8/18・19a		
	東京	未定				新潟 VTR	9/28・29a		
	長岡 VTR	6/23・24							
福祉法学	仙台	6/9・10	1	8	社会福祉援助技術論 B	仙台	7/15b・16	1	6
	東京	10/27・28				札幌	8/19b・8/20		
	新潟 VTR	7/14・15a				新潟 VTR	9/29b・30		
福祉社会学	仙台	7/14～16	2	12	社会調査の基礎	仙台	9/29・30	1	8
	東京	10/6～8				東京 VTR	6/2・3		
						新潟 VTR	12/1・2		
福祉心理学	仙台	5/12・13	1	8	福祉経営論	仙台	5/26・27	1	8
	仙台 VTR	未定				札幌	12/1・2		
	札幌 VTR	7/21・22				盛岡 VTR	12/1・2		
	盛岡 VTR	11/23・24			高齢者福祉論	仙台	4/14・15	1	8
	東京 VTR	5/26・27				仙台	10/13・14		
新潟 VTR	6/23・24	盛岡	3/16・17						
医学一般	仙台	11/17・18	1	8	介護概論	仙台	12/8・9	1	8
						盛岡	8/4・5		
						東京	6/23・24		
福祉行財政と福祉計画	仙台	11/3・4	1	8	児童・家庭福祉論	仙台	11/23～25	2	12
	札幌 VTR	6/2・3				札幌	1/12～14		
	東京 VTR	4/29・30				盛岡	10/6～8		
	新潟	4/21・22				東京	12/22～24		
						新潟	4/28～30		
障害者福祉論	仙台	8/18～20	2	12	更生保護制度論	仙台	1/26・27	1	8
	仙台	2/9～11				新潟 VTR	7/15b・16		
	札幌	9/22～24			就労支援サービス論	仙台	7/21・22	1	8
	東京	9/15～17							
	新潟	10/13～15							

## ■精神保健福祉士指定科目（専門）

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
精神保健学	仙台	9/22・23	1	8
精神医学	仙台	5/25～27	2	12
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	仙台	4/14・15	1	8
精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	仙台	7/28・29	1	8
精神保健福祉援助技術各論	仙台	7/21・22	1	8

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
精神保健福祉の理論	仙台	4/29・30	1	8
精神科リハビリテーション学	仙台	7/14～16	2	12
精神保健福祉のサービス	仙台	8/25・26	1	8
精神保健福祉の制度	仙台	11/3・4	1	8
精神障害者の生活支援システム	仙台	12/8・9	1	8

## ■共通基礎科目

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
禅のこころ	仙台	未定	1	8
ボランティア論	仙台	未定	1	8
科学的な見方・考え方	仙台	9/15・16	1	8
基礎演習	仙台	4/28・29	1	8
	仙台	6/2・3		
	仙台	11月ごろ		
情報処理の基礎	仙台	11/3・4・12/24	1	15
データ分析の基礎	仙台	9/1・2	1	8
統計情報を見る眼	仙台	9/29・30	1	8

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
法の基礎	仙台	3/23～25	1	8
教育の歴史と思想	仙台	6/16～17	1	8
人権と福祉	仙台	11/17・18	1	8
社会福祉学入門	仙台	12/22・23	1	8
歴史を読み解く	仙台	1/26・27	1	8
生命の科学	仙台	未定	1	8
睡眠改善学	仙台	3/9・10	1	8
スポーツの心理学	仙台	未定	1	8

## ■社会福祉学系科目

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
発達障害者の地域支援	仙台	2/23・24	1	8
認知症介護論	仙台	10/20・21	1	8
知的障害者福祉論	仙台	6/23・24	1	8
発達障害者の理解と支援	仙台	未定	1	8
NPO論	仙台	未定	1	8
福祉リスクマネジメント	仙台	9/22～24	2	12
福祉用具と生活支援	仙台	2/9～11	2	12

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
医療・福祉経済論	仙台	12/8・9	1	8
特講・社会福祉学17 (ACT)	仙台	未定	1	8
特講・社会福祉学19 (コミュニティソーシャルワーク)	仙台	未定	1	8
特講 (防災士研修講座)	仙台	6/2・3	1	8
	仙台	未定		

## ■心理学系科目

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
福祉心理学	仙台	5/12・13	1	8
	仙台 VTR	未定		
	札幌 VTR	7/21・22		
	盛岡 VTR	11/23・24		
	東京 VTR	5/26・27		
	新潟 VTR	6/23・24		
心理学概論 A	仙台	1/12・13a	1	6
	東京	7/14・15a		
心理学概論 B	仙台	1/13b・14	1	7
	東京	7/15b・16		
心理学実験Ⅰ A	仙台	8/9・10	-	8
	東京	9/22・23a		
心理学実験Ⅰ B	仙台	8/11・12	1	7
	東京	9/23b・24		
社会・集団・家族心理学 A (社会・集団心理学)	仙台	6/30・7/1	1	8
社会・集団・家族心理学 B (家族心理学)	仙台	未定	1	8
人間関係論	仙台	11/10・11	1	8
	東京	未定		
産業・組織心理学	仙台	6/9・10	1	8
児童青年心理学	仙台	7/21・22	1	8
老年心理学 A	仙台	8/3・4a	1	6
	新潟 VTR	8/6・7a		

科目名	開講予定地	開講予定日	S単位	コマ数
老年心理学 B	仙台	8/4b・5	1	7
	新潟 VTR	8/7b・8		
教育・学校心理学 A (教育心理学)	仙台	10/27・28	1	8
教育・学校心理学 B (学校心理学)	仙台	2/16・17	1	8
感情・人格心理学	仙台	7/28・29	1	8
心理的アセスメントⅠ	新潟 VTR	11/23・24	1	8
ライフサイクルと福祉心理学	仙台	12/1・2	1	8
司法・犯罪心理学	仙台	8/25・26	1	8
カウンセリングⅠ	仙台	5/26・27	1	8
	札幌	2/23・24		
カウンセリングⅡ	東京	未定	1	8
カウンセリング演習Ⅰ	仙台	2/2・3	1	8
カウンセリング演習Ⅱ	仙台	9/1・2	1	8
知覚・認知心理学	仙台	6/2・3	1	8
学習・言語心理学	仙台	10/13・14	1	8
特講・福祉心理学 5 (自分探しの心理学)	仙台	10/20・21	1	8
特講・福祉心理学 9 (コミュニティ心理学)	仙台	未定	1	8
特講・福祉心理学 17 (認知行動療法)	仙台	11/3・4	1	8

# 実習・卒業

## 1 実 習

実習は卒業に必須の科目ではありません。社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者のみが受講します。詳細は下記のページをご覧ください。

- 社会福祉援助技術実習について……………p.72～94
- 精神保健福祉援助実習について……………p.96～112

## 2 卒 業

- ・1年次入学者は、4年以上在学したうえで、p.30～31の要件を満たしつつ124単位以上修得し、かつスクーリング単位を30単位以上修得し、「卒業試験」または「卒業研究」に合格すれば卒業が可能です。「卒業研究」（卒業論文の執筆）は、卒業に必須の科目ではありません。
- ・2年次編入学者の卒業要件は p.31を、3年次編入学者の卒業要件は p.32～33をご覧ください。
- ・卒業時期は3月または9月となります（たとえば4月入学の3年次編入学者が2年後の3月に卒業できなかった場合は、9月に卒業することも可能です）。

### 参考 単位とは

- (1) 大学では、各科目ごとに2単位、4単位、8単位などの単位数が決められています。各科目の単位数は「授業科目一覧」（p.48～50、54～56）をご覧ください。1単位あたりの学習時間は45時間が目安です。
- (2) 「スクーリング単位」とは、スクーリングを受講すると修得できる単位で、「科目単位」とは別々に計算していきます。

### スクーリング単位と卒業要件

通信教育部を卒業するためには、下記のスクーリング単位を修得することが必要です。

- ・1年次入学者 30単位以上
- ・2年次編入学者 22単位以上
- ・3年次編入学者 15単位以上

卒業までに計画的にスクーリング単位を修得することが必要となります。「オンデマンド・スクーリング」「他大学との単位互換によるスクーリング」は、すべてスクーリング単位として認められます。

「ビデオ・スクーリング」によるスクーリング単位は、10単位までが卒業に必要なスクーリング単位として認められます。

スクーリングを受講して、その科目の単位を修得した場合、「科目単位」とは別に「スクーリング単位」も付与されるとお考えください。

最短修業年限で卒業するためには、1年間に平均して8単位以上（12日間以上）のスクーリング単位の修得が目安になります。

具体例	科目単位	スクーリング単位
「福祉社会学」SRで単位修得（スクーリング+レポート）	4	2
「障害者福祉論」Rで単位修得（レポート+科目修了試験）	4	0
⋮		⋮
卒業要件 1年次入学者 （3年次編入学者）	124単位 （62単位）	30単位 （15単位）

スクーリングでは、どのようなことを学ぶのでしょうか。ここでは、スクーリングを受講した学生のアンケートから社会福祉学系講義の感想を抜粋してみました。

#### ●社会福祉原論 田中治和先生

- ・福祉は哲学だと感じました。福祉とはとてもデリケートな部分を掘り下げ、見つめ、向き合っていく難しさの中に、醍醐味があると思います。「好きなことは続けられる」先生の言葉を聴き、これからも自分自身成長しながら歩いていきたいと思っています。

#### ●社会保障論 阿部裕二先生

- ・社会保障は身近なものであるにも関わらず、複雑でわかりづらいために避けがちでしたが、歴史的形成過程、社会保障の各制度の仕組みと内容、今後の課題について事例を活用し分かりやすく進められたのでとても理解が深まりました。

#### ●福祉社会学 赤塚俊治先生

- ・社会福祉の諸問題（高齢者、障害者、子どもの貧困、家庭崩壊、災害など）に対して社会学の視点から分析した内容を聞くことができ、今後の現場で働く上でも大変参考になりました。

#### ●福祉行財政と福祉計画 佐藤英仁先生

- ・新しいデータを用いながら行政の役割をわかりやすく講義していただき理解が深まりました。様々な福祉計画の目的と特徴を聞いたことで実践につなげやすく、現場でも活用できると思いました。

#### ●障害者福祉論 横山英史先生

- ・障がいを通じて感じた先生自身の意見や他機関からのゲストスピーカーの先生のお話がとても興味深く聴くことができました。映像も授業に取り入れられていて、教科書だけでは想像することができない実情を知ることができた。実際の補装具や障害者手帳なども拝見できたのでとても良い経験になりました。

#### ●社会福祉援助技術総論 佐藤博彦先生

- ・社会福祉士という相談援助を行う専門職について、その必要性や基盤となる背景について改めて学ぶことができました。自己学習だけでは途中で挫折してしまいそうだったため、要点がポイントごとにまとめられており分かりやすかったです。

#### ●社会福祉援助技術論A 川口正義先生

- ・社会問題や生活問題の現状を授業の中で聞くことで、権利擁護・尊厳・自立支援などを考察する機会となり、レポート課題に取り組む上でも参考になりました。また、どのような社会福祉士が求められているのか、先生の講義から理解することもでき役立ちました。

#### ●社会調査の基礎 三浦剛先生

- ・ソーシャルワークの視点として、どのような意味を持つのかデータを基に根拠を持つこと、実証することの大切さを学ぶことができました。職場においても、計画・実施・自己評価をより専門性を高めていけるよう、取り組みたいと思いました。

#### ●介護概論 後藤美恵子先生

- ・教科書だけでは分からない、介護の現実や課題など講義を聞いて理解が深まりました。介護といっても十分な知識や体制が整っていないと、利用者が苦痛になりかねないということが分かり、実際の介護現場での大変さを痛感しました。

#### ●児童・家庭福祉論 君島昌志先生

- ・現代社会と子どもと親、社会の関係を改めて考えさせられました。現在と過去、日本の子育ての意識の変化や現代社会の子どもに対する影響、子どもの権利など今後考えていく、良い機会となりました。

#### ●精神保健福祉援助技術総論Ⅰ 志村祐子先生

- ・長年医療分野に勤務していたため、医学モデル的な考え方が染み付いてしまい、精神科で働く上でこれだけでは限界があると感じスクーリングを受講しました。視界が広がったように感じとても役立つ内容でした。

#### ●精神医学 高野毅久・滝井泰孝・西尾雅明先生

- ・精神障害についての理解を深めたことがなく、今回はとても整理ができました。特に精神障害の部分はわかりやすく理解することができ、統合失調症への偏見、神経症との混合など、自分のイメージだけで捉えていたことに気づかされました。

## スクーリング受講者の声 (2)

心理学系・共通基礎科目の講義の感想を抜粋してみました。なお、一部の科目で、2018年度より科目名称が変更されます。

### ●福祉心理学 渡部純夫先生

- ・実生活や人生を考える上で非常にためになる講義だった。受講前は、福祉に対しての心理学と思っていたが、人の一生（ライフサイクル）全てにおいて、個人の幸せとQOLの向上に対しての新しい学問だということを知ることができた。

### ●社会心理学 吉田綾乃先生

- ・社会心理学は、私達の生活と結びついていて、人間の色々な行動にも理由があることが良くわかった。特に援助行動の話で、責任が分散されることがとても興味深かったし、自分の生活でもあるかもしれないと思った。

### ●心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 佐藤俊人先生ほか

- ・心は「目に見えないもの、手に取れないもの」であるからこそ、まっとうな方法で目に見え手に取れるよう、接近方法を考えるために研究があることを知った。心も量的に計測し、可視化することの大切さを知った。

### ●産業心理学 山口奈緒美先生

- ・職場でのストレス、生産性と管理、職場集団の問題など納得させられ感心することが多かった。若いときに学んでいれば、まったく違う自分がいたかもしれない。

### ●心理療法 秋田恭子先生

- ・初めてロジャースがカウンセリングしている映像を見ることができた。ロジャースの面談・認知行動療法・遊戯療法・箱庭療法などを映像で見ることができたことは非常に勉強になった。

### ●カウンセリング演習Ⅰ 末富美貴先生

- ・他人の話聞くことは大変なことだと、講義中のワーク体験を通して強く感じた。カウンセラーの言動によって、違った方向へ向かうこともあると思うと、責任を強く感じる授業でした。

### ■共通基礎科目

#### ●基礎演習 寺下明先生

- ・レポートの書き方やスクーリング時の宿の情報交換など有意義な情報を沢山得ることができた。グループワークを通じて、大切な仲間に出会うきっかけとなった。

### ●心理学概論 佐藤俊人先生

- ・心理学は日常生活の中で幅広く応用されていることに改めて気付かされた。講義を通してより心理学を身近に感じることができ、心理学を活用した人間理解の必要性と可能性を感じることができた。

### ●心理学実験Ⅰ・Ⅱ 中村修先生ほか

- ・普段の何気ない現象もまじめに理論化されていることに驚く。実験の結果が予想通りになりたくないと思うのに、そのようになることが楽しかった。自分も世に残る実験をしてみたい!と思った。

### ●老年心理学 吉川悠貴先生

- ・認知症の人への支援時に、2つの症状を取り上げ、同じ徘徊の様にみえても、その人がかかえているものは違うため、その人に合わせた対応、疾患別ケアという考え方が必要であるということがわかった。

### ●家族心理学 平泉拓先生

- ・授業の中で扱われたブリーフセラピーにとっても興味がわいた。MRI、SFAといった理論は、今までのカウンセリングに対するイメージを突き抜けさせてくれる衝撃的なものだった。

### ●臨床心理学 清水めぐみ先生

- ・自分自身の動機の部分で、無意識においやっていた‘自分も助けてもらいたい’という思考を意識化できたことが、先生の講義で得られた。一生分の気づきとなった。

### ●犯罪非行心理学 半澤利一先生

- ・女子少年院にいる加害者少女たちも被害体験を受けていたが、その被害者意識を受け止める人がいなかった。更生の中で、心の手当てと寄り添うことがいかに大切であるかを痛感した。

### ●科学的な見方・考え方 大内真弓先生

- ・今後のレポート作成に役立つ講義であり、仕事でもいかせると感じた。今までよりも説得力のある資料や提案書を作成できそうだ。入学後、早めにこの講義を受講しておけば良かった。